

2026 年度

# 高 1 英語総合 S

No10~No25

**語彙と訳**

No 12

【2】[英文解釈]《大阪大》

いわば、何十億年ものものに自然は、reason と will を equipped with された一つの種を生み出すことによって、それまで natural evolution のゆっくりとした unconscious な運動によって previously 決定されていた自らの fate を、その種のうちのただ一種の意識的な決定に委ねるようになった、と言えるかもしれない。これが occurred したとき、それまで歴史という realm に confined されており、しかもその歴史自体が、さらに言えば、より広い biological な current によって支えられていた human activity は、従来 boundaries を spill out of して、歴史と生物の両方を menace するようになった。thought と will は、それらを give birth to した地球そのものよりも強大になったのである。

**Vocabulary**

1. equip A with B [ikwíp]	[動]A に B を備え付ける
2. fate [féit]	[名]運命
3. previously [prí:viəsli]	[副]以前は、あらかじめ
4. unconscious [ʌnkánʃəs]	[形]無意識の
5. evolution [èvəlu:ʃən]	[名]進化
6. occur [əkó:r]	[動]起こる、生じる
7. confine A to B [kənfáin]	[動]A を B に限定する
8. realm [rélm]	[名]領域、分野
9. in turn	[句]さらに、その結果
10. biological [bàiəladzíkəl]	[形]生物学的な
11. current [ké:rənt]	[名]流れ、潮流
12. spill out of A [spíl]	[動]A からあふれ出る
13. boundary [báundəri]	[名]境界、限界
14. menace [ménəs]	[動]脅かす
15. give birth to A	[句]A を生み出す

【3】[英文解釈]《大阪大》

John は relief と anger の間で心が引き裂かれる思いだった。Martha の具合が悪い原因は Christmas のことだけなのだとわかって、彼の気持ちは lightened した。しかしその一方で、これがいかにも彼女らしくて、彼は思わず screamed したくなるほどでもあった。彼女はいつも Christmas のことで made a fuss していたのである。ニューヨークの小さな apartment では、二人

はいつも、丸い Swedish cookies や色とりどりの candies を飾った Scandinavian-style の Christmas tree を用意していた。そこにはいつも、最高級の店で買った高価なものばかりの heaps of presents があつた。彼女は、彼のために特別に作らせた品を持つことを rejoiced in していたのだ。だが、彼は贈り物をもらうことなど少しも気にしていなかった。今年は、もし彼女がそれを manuscript covers に入れ、dedication を添えて渡してくれるなら、彼女の戯曲そのものが十分な present になるはずだった。彼は何か月も前にそのことを彼女に伝え、彼女も同意していた。ところが今になって彼女は、obviously、約束を gone back on し、彼の望まないものを贈るために、二人には cannot afford な金まで借りようとしていたのである。

### Vocabulary

1. relief[rilí:f]	[名]安心、安堵
2. lighten[láitn]	[動]軽くする、和らげる
3. scream[skrí:m]	[動]叫ぶ
4. typical[típi:kəl]	[形]いかにも～らしい、典型的な
5. make a fuss over A	[句]A のことで大騒ぎする
6. heap[hí:p]	[名]山、たくさん
7. rejoice in A[ri:dʒóis]	[動]A を喜ぶ
8. manuscript[mænjəskri:pt]	[名]原稿
9. dedication[dèdəkéiʃən]	[名]献辞
10. go back on one's word	[句]約束を破る
11. obviously[ábviəsli]	[副]明らかに
12. cannot afford A	[句]A の余裕がない／A を買う余裕がない

No 13

### 【2】〔英語構文〕《動詞の語法③》

アメリカの教育制度では、一般に、事実を memorizing することに emphasis が置かれているのではなく、むしろ、どのように考え、どのように研究を行うかを学ぶことに重点が置かれている。事実はいつでも本で調べることができ、アメリカの教師たちは一般に、rote memorization を教育の inferior な方法だと考えている。単に事実を暗記するのではなく、生徒たちは、事実を interpret し、evaluate し、そして使う方法を学ぶことが期待されている。教育とは人を人生に prepare するものであると一般に考えられているので、事実が何であるかを知ることだけが重要なのではな

く、それらの事実をどのように使い、現実の生活の場面に apply するかを知ることもまた重要なのである。

### Vocabulary

1.	emphasis[émfəsis]	[名]強調
2.	memorize A[mémərəiz]	[動]Aを暗記する
3.	look up A	[句]Aを調べる
4.	rote memorization[róut]	[名]機械的暗記
5.	inferior[infíəriər]	[形]劣った
6.	interpret A[inté:rprət]	[動]Aを解釈する
7.	evaluate A[ivæljueit]	[動]Aを評価する
8.	prepare A for B	[句]AにBの備えをさせる
9.	apply A to B	[句]AをBに応用する

---

### 【2】[英語構文]《動詞の語法③》

私たちの問題に対する intense な集中が、必ずしも immediate な解決につながるとは限らない。むしろ、心を自由に漂わせることが、表面の下に hovering している無意識の考えに access することを私たちに enable することがあり、それが創造的な insight へとつながる過程になるのだと、カリフォルニア大学サンタバーバラ校の心理学者ジョナサン・スクーラーは述べている。

### Vocabulary

1.	intense[inténs]	[形]強烈な、激しい
2.	focus on A	[句]Aに集中する
3.	immediate[imí:diət]	[形]即時の、すぐの
4.	enable A to V[enéibl]	[動]AがVできるようにする
5.	access A[ækses]	[動]Aに達する、利用する
6.	unconscious[ʌnkánʃəs]	[形]無意識の
7.	hover[hávər]	[動]漂う、浮かぶ
8.	beneath[biní:θ]	[前]～の下に
9.	insight[ínsait]	[名]洞察

---

### 【3】[英文解釈]《大阪大》

読書は受け身の行為ではない。どのような種類の良い文章も、あなたに participate するよう invite し、あなたの感覚、emotions、想像力、そして intellect を engaging するだろう。また、それはあなた自身の記憶や

associations を trigger し、あなたの思考を stimulate するだろう。読むとき、あなたは書き手が articulated したことを absorb し、evaluate し、さらに extend していくのであり、それを、自分がどのような人間であり、何を知っているかということに in light of して interpret するのである。この意味で、文学作品を読むとき、あなたはそれを recreate しているのだ。

### Vocabulary

1.	participate [pa:rtisəpèit]	[動]参加する
2.	invite A to V [inváit]	[動]A に V するよう促す
3.	engage A [ingéidʒ]	[動]A を引き込む、夢中にさせる
4.	emotion [imóuʃən]	[名]感情
5.	intellect [íntəlèkt]	[名]知性
6.	trigger A [trígər]	[動]A を引き起こす
7.	association [əsòusiéiʃən]	[名]連想
8.	stimulate A [stímjulèit]	[動]A を刺激する
9.	absorb A [əbzó:rb]	[動]A を吸収する
10.	evaluate A [iváeljuèit]	[動]A を評価する
11.	extend A [iksténd]	[動]A を広げる、発展させる
12.	articulate A [a:rtíkjulèit]	[動]A を明確に述べる
13.	in light of A	[句]A に照らして
14.	recreate A [ri:kriéit]	[動]A を再創造する

### Usage

◆ 「V O to be C」の構文では、「動詞＋目的語(O)＋to be＋補語(C)」という形をとり、「O が C であると考える／みなす／信じる／思う」という意味を表します。このときの to be C は、目的語 O の状態・性質・立場を説明する部分であり、O と C の間には O = C の関係があります。つまり、「O は C だ」と主語が判断しているわけです。基本の発想は、「目的語について、ある評価・判断を下す」というものです。なお、この構文では to be が省略されることが非常に多いという点も重要です。特に consider, find では、to be なし の形がよく使われます。

以下は、この構文で頻出する代表的な動詞と例文です。

1. consider「O を C だと考える」

この動詞は、最も基本的な consider 型の動詞で、「よく考えたうえで判断する」という意味を持ちます。

- They considered the plan to be unrealistic.

彼らはその計画を非現実的だと考えた。

・(to be 省略): Many people consider him a great teacher.

多くの人が彼を偉大な教師だと考えている。

2. believe「O が C であると信じる」

believe は「真実だと思う・信じる」という意味で、consider よりも「信念」に近い判断を表します。

・ We believe this story to be true.

私たちはこの話が本当だと信じている。

・ The report was believed to be accurate.

その報告は正確だと信じられていた。

3. suppose「O が C であると思う」

suppose は「そうだと仮定する・思う」という意味で、consider よりやや控えめな判断を表します。

・ They supposed the house to be empty.

彼らはその家は空だと思った。

・ I supposed him to be older.

私は彼のほうがもっと年上だと思っていた。

4. find「O が C だと分かる／見いだす」

find は「実際にそうだと分かる」という意味を含みます。単なる主観ではなく、経験や観察の結果としての判断を表すことが多い語です。

・ We found the book to be very useful.

私たちはその本がとても役に立つと分かった。

・(to be 省略): I found the story interesting.

私はその話が面白いと分かった。

---

## Usage

◇「V O to V」の構文では、「動詞＋目的語(O)＋to 不定詞(to V)」という形を取り、「O が V するようにする／O に V することを許す／O に V することを可能にする／O に V する原因となる」といった意味を表します。このときの to V は、目的語 O が行う動作を表しており、O と V の間には『O が V する』という関係があります。つまり、この構文では、動詞が目的語 O に何らかの働きかけをし、その結果として O が to V の動作を行う、という形になっています。基本の発想は、「人や物事に働きかけて、そのあとにある行為を生じさせる」というものです。

また、この構文は 無生物主語構文で頻出 することも重要です。特に enable, allow, cause, require などは、主語に「制度・状況・変化・出来事・技術・天候」な

どの無生物が来やすく、「～によって O が V できるようになる」「～のために O が V する」「～することが O に求められる」といった形でよく用いられます。

以下は、この構文で頻出する代表的な動詞と例文です。

1. enable O to V「O が V できるようにする」

この動詞は、「条件を整えて可能にする」という意味を表します。強制ではなく、「できるようにする」「可能にする」という働きを持ちます。

・ The Internet enables us to access information quickly.

インターネットは、私たちがすばやく情報にアクセスできるようにする。

・ This system enables students to study more efficiently.

この制度によって、生徒たちはより効率的に勉強できる。

2. allow O to V「O が V するのを許す」

allow は、「許可する」「認める」という意味を表します。主語が、人や規則、状況などであることが多く、「O に V する自由を与える」という発想です。

・ This ticket allows visitors to enter the museum twice.

このチケットで、来館者はその博物館に二回入ることができる。

・ The rules do not allow students to use smartphones in class.

その規則では、生徒が授業中にスマートフォンを使うことは認められていない。

3. cause O to V「O が V する原因となる」

cause は、「O に V させる原因となる」という意味を表します。make のような直接的な強制というよりも、ある出来事や状態が原因となって結果を引き起こす、という意味合いが強い語です。

・ His careless remark caused everyone to laugh.

彼の不用意な発言で、みんなが笑った。

・ The heavy rain caused the river to overflow.

大雨によって川があふれた。

4. force O to V「O に無理に V させる」

force は、「強制する」という非常に強い意味を持ちます。意志に反してやらせる、というニュアンスが明確です。

・ The storm forced us to stay inside.

嵐のために、私たちは中にとどまらざるをえなかった。

・ Rising costs forced the company to close the factory.

費用の上昇により、その会社は工場を閉鎖せざるをえなかった。

5. require O to V「O が V することを必要とする」

require は、「必要とする」「要求する」という意味を表します。特に無生物主語と結びついて、「状況・規則・仕事などが O に V することを求める」という形

で非常によく使われます。

- This job requires employees to work on weekends.

この仕事では、従業員が週末に働くことが求められる。

- The law requires drivers to wear seat belts.

その法律では、運転者がシートベルトを着用することが求められている。

---

No 14

【2】〔英語構文〕《動詞の語法⑤》

Once 子どもと親との間の confidence が失われてしまうと、それを回復することは難しい。子どもは、自分の最も ordinary な考えや感情さえも自分の中にしまい込み、そして他の人々に turn to するようになる——not necessarily 最良の人とは限らない相手に、自分の信頼を与えるためである。親がいつも現代の状況に古い考え方を applying していると、子どもは母親や父親を自分自身の生活の問題と out of touch であると regard するように tend to する。このことは、親と子の間に常に exist しているように思われるある種の gulf をさらに add to することになる。

**Vocabulary**

1. once SV…	[句]一度 SV…すれば
2. confidence[kánfədens]	[名]信頼、自信
3. destroy A	[動]Aを破壊する
4. recover A[rikálvər]	[動]Aを回復する
5. keep A to oneself	[句]Aを秘密にする
6. turn to A (for B)	[句]Aに(Bを)頼る
7. not necessarily	[句]必ずしも～でない
8. be always Ving	[句]Vingばかりしている
9. condition[kəndíʃən]	[名]状況、条件
10. regard A as B	[句]AをBと見なす
11. out of touch with A	[句]Aと無縁な
12. add to A	[句]Aを増す
13. gulf[gálf]	[名]溝
14. exist[igzíst]	[動]存在する

---

【3】〔英文解釈〕《大阪大》

prudent な雇用者であれば、労働者が働く理由として挙げるかもしれない incentives を analyze するために時間をかけるだろう——そして最も重要なのは、

それらをどの順序で挙げるかである。最近の研究は、お金がそのようリストでは第七位であることを disclosed した。第一位に来ていたのは、その仕事を performing することにおける satisfaction であった。Obviously、何かを accomplished したときに得られるあの良い感覚こそが、依然として重労働に対する最良の reward である。しかし労働者は、自分が仕事をうまくやっていることを知る必要もあり、今日の管理における主な deficiency は、そのことを彼らに伝えないことである。

### Vocabulary

1.	prudent[prú:dənt]	[形]分別のある
2.	analyze A[æ'nælàiz]	[動]A を分析する
3.	incentive[inséntiv]	[名]動機
4.	most importantly	[句]最も重要なこととして
5.	disclose that SV…[disklúuz]	[動]SV…を明らかにする
6.	satisfaction[s`ætisfækjən]	[名]満足
7.	accomplish A[əkámpliʃ]	[動]A を達成する
8.	reward[riwó:rd]	[名]報酬
9.	deficiency[difíʃənsi]	[名]欠点、欠陥
10.	management[mænidʒmənt]	[名]管理

### 【4】〔英文解釈〕《大阪大》

人間社会に conflict が存在しないということはありません。そのような社会は友人の社会ではなく、アリの社会であろう。たとえそれが attainable であったとしても、その attainment によって破壊されてしまう極めて重要な人間的価値があり、したがってそれは私たちがそれを attempting して bring it about するのを prevent すべきものである。On the other hand、私たちは確かに conflict の reduction を実現すべきである。こうしてすでにここに、価値や principles の clash の一例がある。この例はまた、価値や原理の衝突が有益であり、実際、開かれた社会にとって essential であることを示している。

### Vocabulary

1.	conflict[kánflikt]	[名]対立、衝突
2.	attainable[ətéinəbl]	[形]達成可能な
3.	attainment[ətéinmənt]	[名]達成
4.	prevent A from Ving	[句]A が V するのを妨げる
5.	attempt to V[ətémpʃt]	[動]Vしようとする

6.	bring about A	[句]A を引き起こす、実現する
7.	on the other hand	[句]一方で
8.	reduction[ri'dʌkʃən]	[名]減少
9.	clash[klæʃ]	[名]衝突
10.	principle[prɪnsəpl]	[名]原理
11.	essential[isénʃəl]	[形]不可欠な

## Usage

◆ 「V A as B」の構文では、「動詞＋目的語(A)＋as＋補語(B)」という形をとり、「A を B と見なす／考える／評価する」という意味を表します。このときの as B は、目的語 A の立場・性質・役割・評価を示しており、A と B の間には A = B の関係があります。つまり、「A は B だ」と主語が判断しているわけです。基本の発想は、「ある対象を、ある見方・評価・立場でとらえる」というものです。この構文は、判断・評価・認識 を表す動詞と特に結びつきやすく、英文解釈では頻出です。

以下は、この構文で頻出する代表的な動詞と例文です。

### 1. regard A as B「A を B と見なす」

regard は、この型を代表する最重要動詞です。「ある程度はつきりとした判断・評価を下す」という意味を持ちます。ややかたい語で、説明文や評論文でもよく使われます。

- Many people regard English as an international language.  
多くの人が英語を国際語と見なしている。
- He is regarded as an expert in the field.  
彼はその分野の専門家と見なされている。

### 2. see A as B「A を B と考える」

see は、「見える」から転じて、「A を B という観点から見る」という意味を表します。regard よりもやや柔らかく、日常的にも抽象的な議論にも広く使われます。

- Some people see failure as a chance to grow.  
失敗を成長の機会と考える人もいる。
- She was seen as a symbol of hope.  
彼女は希望の象徴と見られていた。

### 3. look on A as B「A を B と見なす」

look on A as B は、see A as B に近い意味ですが、やや表現としてかたく、書き言葉的です。「そのような見方をする」という意識が比較的はつきりし

ています。

• They looked on him as a leader.

彼らは彼を指導者と見なしていた。

• She was looked on as different from the others.

彼女は他の人たちとは違う存在と見なされていた。

#### 4. view A as B「AをBとみなす」

view は、「ある見地からとらえる」という意味が強く、評論文・論説文で特によく使われます。regard とかなり近いですが、view のほうが「見方・観点」の意識が前面に出やすい語です。

• Many scientists view language as a uniquely human ability.  
多くの科学者は、言語を人間特有の能力と見なしている。

• The disease is often viewed as a result of stress.  
その病気はしばしばストレスの結果と見なされる。

#### 5. think of A as B「AをBと考える」

think of A as B は、「AをBだと思ふ」という意味で、比較的やわらかく日常的な表現です。主観的なとらえ方や印象を述べる時にも使われます。

• Many children think of the city as an exciting place.  
多くの子どもたちは、その都市をわくわくする場所だと考えている。

• He thought of the job as a new beginning.  
彼はその仕事を新たな出発だと考えた。

No 16

### 【2】[英語構文]《動詞の語法⑥》

専門家たちは、maternity leave 中の女性に対して、雇用主のために行う仕事に set limits するよう recommend している。著者のダグラス氏は、「if possible、少なくとも数週間は、誰にもまったく contact されない期間を自分に allow しなさい」と述べている。「誰も、赤ちゃんとの最初の magical な数週間をあなたから deprive してはならない。」

### Vocabulary

- |    |                              |               |
|----|------------------------------|---------------|
| 1. | recommend that SV…[rɛkəmənd] | [動]SV…するよう勧める |
| 2. | on maternity leave           | [句]育児休暇中      |
| 3. | set limits on A              | [句]Aに制限を設ける   |
| 4. | allow O to V / allow O O     | [動]Oに～を許す／与える |
| 5. | contact A                    | [動]Aに連絡する     |

- |    |                         |               |
|----|-------------------------|---------------|
| 6. | if possible             | [句]可能ならば      |
| 7. | deprive A of B[dipráiv] | [動]A から B を奪う |
| 8. | magical[mædzikəl]       | [形]魔法のような     |

【3】[英文解釈]《大阪大》

印刷物や broadcast を含むマスメディアは、おそらく現代世界における attitudes や意見に対して最も pervasive な影響を与える存在である。マスメディアへのアクセスは、in fact、modernity の defining な characteristics の一つである。より強力な他の力が、ある given region や文化の中に存在することもありうる。しかし世界的に見れば、in terms of sheer な到達人数という点では、他のコミュニケーション手段は新聞、放送、雑誌、そして advertising に載せられた言葉や画像と compete することはできない。例えば、マスメディアにおいて女性がどのように presented されるかは、女性のあるべき立場についての人々の notions に強い影響を affect する。

**Vocabulary**

- |     |                                |               |
|-----|--------------------------------|---------------|
| 1.  | broadcast[brɔːdkæst]           | [名]放送         |
| 2.  | pervasive[pərvéisiv]           | [形]広がる、普及している |
| 3.  | attitude[ætətjù:d]             | [名]態度、考え方     |
| 4.  | in fact                        | [句]実際には       |
| 5.  | defining[difáiniŋ]             | [形]決定的な、明確な   |
| 6.  | characteristic[kæ`ræktərístik] | [名]特徴         |
| 7.  | modernity[modərnəti]           | [名]現代性        |
| 8.  | given[gívən]                   | [形]特定の        |
| 9.  | region[rí:dʒən]                | [名]地域         |
| 10. | in terms of A                  | [句]A の観点で     |
| 11. | sheer[ʃíər]                    | [形]全くの        |
| 12. | compete with A[kəmpí:t]        | [動]A と競う      |
| 13. | advertising[ædvərtàiziŋ]       | [名]広告         |
| 14. | present A[prizént]             | [動]A を提示する    |
| 15. | affect A[əfékt]                | [動]A に影響を与える  |
| 16. | notion[nóuʃən]                 | [名]考え         |

【4】[英文解釈]《大阪大》

どのような人間集団も、それぞれ独自の世界を持っている。それは、一定の range の知識と、特定の evaluation の様式から成り立っている。このような世界観は、時間が rolls on するにつれて、絶えず modification を受けるものである。また、その特定の集団との association があるからといって、それが他の集団の成員によって adopted されることを prevent することはできない。On the contrary、情報や嗜好、習慣、感情や判断の様式は、一つの sociocultural な集団から別の集団へと transmitted されうるのであり、個人は in any case、複数の集団に対して loyalties を持つことができるため、彼ら自身がそれぞれ異なる世界観の間を accordingly 移動する存在となるのである。

### Vocabulary

1.	range[réindʒ]	[名]範囲
2.	evaluation[ivæ`ljuéiʃən]	[名]評価
3.	be subject to A	[句]Aを受けやすい
4.	modification[màdəfikéiʃən]	[名]変化、修正
5.	roll on	[句](時間が)進む
6.	association[əsòusiéiʃən]	[名]結びつき
7.	prevent A from Ving	[句]AがVするのを妨げる
8.	adopt A[ədápt]	[動]Aを採用する
9.	on the contrary	[句]それどころか
10.	transmit A[trænsmit]	[動]Aを伝える
11.	sociocultural [形]社会文化的な	
12.	in any case	[句]いずれにせよ
13.	loyalty[lóiəlti]	[名]忠誠、帰属意識
14.	accordingly[əkó:rdiŋli]	[副]それに応じて

### Usage

◆ 「V A of B」の構文では、「動詞＋目的語(A)＋of＋内容(B)」という形をとり、「AからBを奪う／取り除く／なくす」という意味を表します。このときの of B は、Aから失われるもの、取り去られるもの、取り除かれるものを示します。つまり、Aは「失う側・取り除かれる側」であり、Bは「失われるもの・除かれるもの」です。基本の発想は、「AからBを切り離す」というものです。

この構文では、ofは「～を失って」「～を除かれて」という感覚をもち、Bは権利・所有物・自由・苦痛・不安・汚れなど、Aに属していたものとして現れます。

以下は、この構文で頻出する代表的な動詞と例文です。

1. deprive A of B「A から B を奪う」  
deprive は、この型を代表する最重要動詞です。権利・機会・自由・必要なものなどを「奪う」という意味で使われます。ややかたい語で、説明文や評論文でも頻出です。
  - Nobody should deprive you of your freedom.  
だれもあなたから自由を奪ってはならない。
  - Lack of sleep deprived him of the energy to work.  
睡眠不足のために、彼は働く元気を失った。
2. rob A of B「A から B を奪う」  
rob も「奪う」という意味ですが、deprive よりも具体的・直接的で、金銭・財産・機会・楽しみなどを奪う場面でよく使われます。
  - The thief robbed her of her bag.  
その泥棒は彼女からバッグを奪った。
  - Illness robbed her of the chance to travel.  
病気のために、彼女は旅行する機会を失った。
3. strip A of B「A から B を奪う／はぎ取る」  
strip は、「表面についているものをはぎ取る」という感覚が強い語で、地位・権利・衣服・特徴などをはぎ取るように奪う場面で使われます。deprive や rob よりも、やや強く劇的な響きがあります。
  - The scandal stripped him of his authority.  
その不祥事で彼は権威を失った。
  - The trees were stripped of their leaves by the storm.  
嵐のために木々は葉を失った。
4. clear A of B「A から B を取り除く」  
clear は、「取り除いてきれいにする・なくする」という意味を表します。不要なもの、障害となるもの、疑いなどを除去する場面で使われます。
  - We cleared the table of dirty dishes.  
私たちはテーブルから汚れた皿を片づけた。
  - The road was cleared of snow.  
その道路は雪が取り除かれた。
5. relieve A of B「A から B を取り除いて楽にする」  
relieve は、「負担・苦痛・不安・責任などを取り除いて軽くする」という意味を表します。単に remove するのではなく、その結果 A が楽になる という含みをもつのが特徴です。
  - This medicine relieved her of pain.

この薬は彼女の痛みを和らげた。

・ The new system relieved workers of some of their burden.

その新しい制度は労働者たちの負担の一部を軽くした。

No 17

【2】〔英語構文〕《動詞の語法⑦》

あなたが属しているそれぞれの共同体は、あなたにある種のを provides you with している。例えば、あなたの家族や学校は、価値観、traditions、行動、そして cooperation を教えてくれる。あなたの町や市の政府は、法律、警察や消防による保護、学校、garbage collection、そしてその他のサービスを提供している。これらのものはしばしば公共サービスと呼ばれる。public とは、共同体の人々に pertaining to する、あるいはすべての人に利用されるための、という意味である。

**Vocabulary**

- |    |                             |                |
|----|-----------------------------|----------------|
| 1. | provide A with B            | [句]A に B を与える  |
| 2. | tradition [trə'dɪʃən]       | [名]伝統          |
| 3. | cooperation [kou'ɒpəreɪʃən] | [名]協力          |
| 4. | garbage collection          | [句]ごみ収集        |
| 5. | pertain to A [pə'teɪn]      | [動]A に属する、関係する |

【3】〔英文解釈〕《大阪大》

保育学校の役割は、不在の母親の substitute となることではなく、子どもの最も早い時期に母親だけが果たす役割を supplement し、extend することである。保育学校は、おそらく correctly には、primary school を下へ延長したものというよりも、家庭を上へ extension したものと considered されるのが最も適切である。したがって、保育学校と、とりわけ教師の役割を in any detail に論じる前に、幼児が母親から何を必要としているのか、また母親が子どもの最も早い時期に健全な psychological な発達を fostering するうえで果たす役割の性質についての summary を set down することが望ましいように思われる。母親の役割と子どもの必要としているものを in the light of して初めて、保育学校がどのようにして母親の仕事を continue できるのかという the way についての真の理解が gained されうるのである。

**Vocabulary**

- |    |                          |            |
|----|--------------------------|------------|
| 1. | substitute [sʌbstətjù:t] | [名]代わり、代用品 |
| 2. | supplement A [sʌpləmənt] | [動]A を補完する |

3.	extend A[iksténd]	[動]Aを広げる、拡張する
4.	correctly[kərəéktli]	[副]正しく、適切に
5.	consider A as B / consider A B	[句]AをBと考える
6.	extension[iksténʃən]	[名]延長、拡張
7.	in any detail	[句]詳しく
8.	set down A	[句]Aを書き留める、述べる
9.	summary[sáməri]	[名]要約
10.	infant[ínfənt]	[名]幼児
11.	foster A[fó:stər]	[動]Aを育てる
12.	psychological[sàikələdzikəl]	[形]心理的な
13.	in the light of A	[句]Aを考慮して、Aに照らして
14.	gain A[géin]	[動]Aを得る
15.	the way (in which) SV	[句]…する方法
16.	continue A[kəntínju:]	[動]Aを続ける

【4】〔英文解釈〕《大阪大》

人間が自分に歴史があるということにさえ気づいていたのは、人類の歴史のほんの tiny な fragment にすぎない。人間が初めて文字を developed し、civilization が始まって以来のほとんどすべての年月のあいだ、人間は自分自身と自分の共同体を、今日の私たちには familiar なものとはまったく異なる仕方であらうと thought of していた。彼は、時間の passage を、unique で irreversible な変化の瞬間の連続としてではなく、むしろ familiar な瞬間の continuous な repetition として see するように tended to していた。季節の循環——春、夏、秋、冬、そしてまた春——は、彼にとって、時間が過ぎていくことの最も vivid で、最も intimate な印であった。

**Vocabulary**

1.	tiny[táini]	[形]ごく小さい
2.	fragment[fréəgmənt]	[名]断片
3.	develop A[divéləp]	[動]Aを発達させる
4.	civilization[sivələzéiʃən]	[名]文明
5.	think of A	[句]Aについて考える
6.	familiar[fəmíljər]	[形]なじみのある
7.	tend to V	[句]Vする傾向がある
8.	see A as B	[句]AをBと見る

9.	passage[pæsidʒ]	[名]経過
10.	unique[juːnɪk]	[形]唯一の、独特の
11.	irreversible[ɪrɪvəːrsəbl]	[形]元に戻せない
12.	continuous[kəntɪnjuəs]	[形]連続した
13.	repetition[rɪpəˈtɪʃən]	[名]繰り返し
14.	vivid[ˈvɪdɪd]	[形]鮮明な
15.	intimate[ɪntəmət]	[形]親密な、身近な
16.	passing time	[句]過ぎゆく時間

### Usage

◆ 「V A with B」の構文では、「動詞＋目的語(A)＋with＋内容(B)」という形をとり、「A に B を与える／備えさせる／授ける」という意味を表します。このときの with B は、A に与えられるもの・備えられるもの・付け加えられるものを示します。つまり、A は「受け取る側・備えられる側」であり、B は「与えられるもの・備えられるもの」です。基本の発想は、「A に B を持たせる」というものです。

この構文では、with は「～を伴って」「～を備えて」という感覚をもち、B は物・情報・能力・性質・機会・設備など、A に新たに加わるものとして現れます。

以下は、この構文で頻出する代表的な動詞と例文です。

1. supply A with B「A に B を供給する」

supply は、「必要なものを継続的に与える・供給する」という意味を表します。食料・水・電力・情報・商品などを与える場面でよく使われます。

• The company supplies stores with fresh vegetables.

その会社は店に新鮮な野菜を供給している。

• This program supplies students with useful information.

このプログラムは生徒たちに有益な情報を与える。

2. provide A with B「A に B を与える」

provide は supply と近い意味ですが、より広く一般的に使えます。物だけでなく、機会・情報・保護・支援なども与えられます。

• The school provides children with lunch.

その学校は子どもたちに昼食を提供している。

• The job provided her with a chance to travel abroad.

その仕事は彼女に海外へ行く機会を与えた。

3. equip A with B「A に B を備え付ける／身につけさせる」

equip は、「必要なものを備えさせる」という意味を表します。道具・設備・能力・知識などを与えて、ある目的にふさわしい状態にする語です。

- Education should equip students with practical skills.  
教育は生徒に実用的な技能を身につけさせるべきだ。
  - He was well equipped with patience and determination.  
彼は忍耐力と決意を十分に備えていた。
4. endow A with B「AにBを授ける」  
endow は、「生まれつきの性質・才能・特質などを授ける」という意味を表します。ややかたい語で、評論文や説明文でよく使われます。
- Nature has endowed human beings with language.  
自然は人間に言語を授けた。
  - She was endowed with great musical talent.  
彼女はすぐれた音楽の才能を授けられていた。
5. present A with B「AにBを贈る／授与する」  
present は、「正式に与える」「贈呈する」という意味を表します。賞・贈り物・機会・問題などを与えるときに使われます。
- She presented her friend with a beautiful vase.  
彼女は友人に美しい花瓶を贈った。
  - We were provided with useful materials for the project.  
私たちはそのプロジェクトのための役立つ資料を与えられた。

---

No 18

【2】〔英語構文〕《動詞の語法⑧》

Ronnie は、とても private な人であると同時に、gregarious でもあり、人に会ったり人と会話したりすることを好んでいた。彼と 52 年間結婚生活を送ったあとで、私にはたくさんの思い出がある。彼はとても sentimental で、romantic で、そして tender な人だった。私の誕生日には、彼はいつも、私を産んでくれたことについて母に感謝するために、母に花を送ってくれた。そして、私たちが離れていなければならないときには、彼は私に美しく、touching な手紙を書いてくれた。

**Vocabulary**

- |    |                          |                    |
|----|--------------------------|--------------------|
| 1. | gregarious[grə'ɡeəriəs]  | [形] 社交的な           |
| 2. | sentimental[sentə'mentl] | [形] 感傷的な           |
| 3. | romantic[roumæntik]      | [形] ロマンチックな        |
| 4. | tender[tɛndər]           | [形] 優しい            |
| 5. | touching[tʌtʃɪŋ]         | [形] 感動的な           |
| 6. | thank A for B            | [句] A に B のことで感謝する |

## 【3】〔英文解釈〕《大阪大》

まさに言語こそが、for the first time、私たちの ancestors に、自分たちの子どもを including して、実際にはそこに存在していない objects や出来事について他者に教えることを enabled したのである。今日生きている他の intelligent な動物にも、複雑な脳や elaborate な伝達体系をもつものはいるが、少なくとも私たちの知るかぎりでは、そのようなことはできない。Chimpanzees やその他の類人猿は、アメリカ手話 ASL の多くの記号を教えられることができる。彼らは三百以上を acquired しており、それらを新しい contexts の中で、また訓練者とだけでなく仲間同士でも使うことができる。しかし彼らは、その evolution の過程において、今そこに存在しないものについて語り、遠い過去の出来事を共有し、はるかな未来を計画し、そして最も重要なこととして、考えについて話し合い、それらを exchanging することによって、集団全体の accumulated された wisdom を共有するという、人間に uniquely な能力を発達させることはなかった。

**Vocabulary**

1.	for the first time	[句]初めて
2.	enable A to V[enéibl]	[動]A が V できるようにする
3.	ancestor[ænsɛstər]	[名]祖先
4.	include A[inklú:d]	[動]A を含む
5.	object[ábɔ:dʒɪkt]	[名]物、対象
6.	intelligent[intélədʒənt]	[形]知能の高い
7.	elaborate[ilæbərət]	[形]複雑な
8.	chimpanzee[tʃɪmpənzi:]	[名]チンパンジー
9.	acquire A[əkwáɪər]	[動]A を習得する
10.	context[kántɛkst]	[名]文脈、状況
11.	evolution[èvəlú':ʃən]	[名]進化
12.	uniquely[ju:ní:kli]	[副]独自に、特有に
13.	exchange A[ɪkstʃéɪndʒ]	[動]A を交換する
14.	accumulated[əkjú:mjʊlèɪtɪd]	[形]蓄積された
15.	wisdom[wízdəm]	[名]知恵

## 【4】〔英文解釈〕《大阪大》

近年、映画制作に用いられる新しい技術によって、映画はより vividly で lifelike なものになっており、さらに発展すれば、現実を still more closely 写し取ることが

可能になるかもしれない。それでもなお、現実世界の経験と映画館での経験とのあいだには、常に distinct な違いがあるだろう。現実についての Perception は能動的な過程であるのに対し、映画を見ているあいだの私たちの活動は strictly limited されている。現実世界で私たちが見るものは、私たち自身の意志と選択の産物である。映画館では、私たちは与えられた視点を受け入れなければならない。映画制作は、スクリーンに何が映し出されるかを支配する viewpoint の選択を requires するので、その結果、私たちが目の前にあるものを見渡し、注意や関心を引くものを選び、それを examine するという normal な自由は制限される。私たちは見ることはできる。聞くこともできる。しかし、自分自身で investigate することはできない。

### Vocabulary

1.	vividly [v'ividl]	[副] 鮮やかに
2.	lifelike [l'ailaik]	[形] 実物そっくりの
3.	still more closely	[句] さらにいっそう密接に
4.	distinct [dist'inkt]	[形] 明確な
5.	perception [p'ers'epʃən]	[名] 知覚、認識
6.	whereas	[接] ~である一方で
7.	strictly limited	[句] 厳しく制限された
8.	require A [rikw'ia:ə]	[動] A を必要とする
9.	viewpoint [vjú:p'oint]	[名] 視点
10.	normal [n'ó:rməl]	[形] 通常の
11.	examine A [igz'æmin]	[動] A を詳しく調べる
12.	investigate A [invéstig'ei:t]	[動] A を調査する
13.	for oneself	[句] 自分自身で

### Usage

◆ 「V A for B」の構文では、「動詞 + 目的語(A) + for + 内容(B)」という形をとり、「A を B のことでほめる／責める／感謝する／しかる」という意味を表します。このときの for B は、A に対する評価・反応・感情の原因や理由を示します。つまり、A は「感情や評価の向かう相手」であり、B は「その理由・対象となる行為や事柄」です。基本の発想は、「B という理由で A にある反応を向ける」というものです。この構文では、for は「～のことで」「～を理由にして」という感覚をもち、B には行為・態度・性質・結果などが来ます。

以下は、この構文で頻出する代表的な動詞と例文です。

1. thank A for B 「A に B のことで感謝する」

thank は、「相手がしてくれたこと」に対して感謝を表す最も基本的な動詞です。B には help, kindness, invitation などの名詞や、doing の形がよく来ます。

- He thanked me for helping him.

彼は私に、手伝ってくれたことを感謝した。

- She thanked her teacher for his support.

彼女は先生に支援してくれたことを感謝した。

## 2. criticize A for B「A を B のことで批判する」

criticize は、「行為・判断・態度などに問題があるとして批判する」という意味を表します。説明文・評論文でもよく使われる重要語です。

- They criticized the government for its slow response.

彼らは政府の対応が遅いことを批判した。

- She was criticized for making the same mistake again.

彼女は同じ間違いをまたしたことで批判された。

## 3. admire A for B「A の B を感心する／称賛する」

admire は、「優れた行為・性質・態度などに感心する、称賛する」という意味を表します。能力や勇気、努力などを評価する場面でよく使われます。

- We admired him for telling the truth.

私たちは彼が真実を語ったことを立派だと思った。

- She is admired for her honesty and kindness.

彼女はその正直さと親切さで称賛されている。

## 4. scold A for B「A を B のことでしかる」

scold は、「悪いこと・よくない行為」を理由に相手をしかる、という意味です。日常的で分かりやすい語ですが、学校英語でもよく出ます。

- The teacher scolded him for being late.

先生は彼を遅刻したことでしかった。

- He was scolded by his teacher for being late to class.

彼は授業に遅刻したことで先生にしかられた。

## 5. apologize to A for B「A に B のことで謝る」

apologize は、「自分のしたこと・起こったことについて相手に謝る」という意味を表します。for の後ろには、謝罪の理由となる行為・失敗・迷惑などが来ます。

- He apologized to his teacher for being late.

彼は先生に遅刻したことを謝った。

- She apologized to me for her rude remark.

彼女は私に無礼な発言をしたことを謝った。

No 20

【2】〔英語構文〕《動詞の語法⑨》

竹は、風が吹き抜けたり、6月の雨が葉に steadily と降ったりするのを人々が聴けるようにと、庭園に使われてきた。竹の美しさは、おそらくその simplicity にある。この simplicity を、芸術家たちは長年にわたって express しようとしてきたのである。芸術家たちの skill は、竹を屋内に取り入れ、自然の美しさを remind させるとともに、それ(竹)を私たちにとってとても familiar なものにしてきたので、西洋では、それ(竹)が Orient を symbolize するものとなっている。

**Vocabulary**

- |                           |               |
|---------------------------|---------------|
| 1. steadily[stédili]      | [副]絶え間なく、着実に  |
| 2. simplicity[simplísəti] | [名]簡素、単純      |
| 3. express[iksprés]       | [動]表現する       |
| 4. skill[skíl]            | [名]技能、腕前      |
| 5. remind A of B[rimáind] | [動]AにBを思い出させる |
| 6. familiar[fəmiljər]     | [形]親しみのある     |
| 7. symbolize[símbəlaiz]   | [動]象徴する       |
| 8. the Orient[ó:riənt]    | [名]東洋         |

**Usage**

◆ 「V A of B」の構文では、「動詞＋人(A)＋of＋内容(B)」という形をとり、「AにBを知らせる／思い出させる／警告する／確信させる／通知する」という意味を表します。このときの of は「～について」という意味で、人(A)が知るべき内容や意識すべき事柄(B)を導きます。情報・注意・記憶・感情などを人の中に呼び起こすことが基本の発想です。

以下は、この構文で頻出する代表的な動詞と例文です。

1. remind「AにBを思い出させる」

この動詞は、「記憶や予定」を思い出させる働きを持ちます。

- The photo reminded me of my grandmother.  
その写真は私に祖母のことを思い出させた。
- She reminded me that I had a meeting at 3.  
彼女は私に、3時に会議があることを思い出させた。
- (受動態): I was reminded of the rule.  
私はその規則を思い出させられた。

## 2. inform「AにBを知らせる」

やや堅い語で、公式な知らせや連絡に使われます。

- He informed me of the new policy.  
彼は私に新しい方針を知らせた。
- She informed us that the event was canceled.  
彼女は私たちに、そのイベントが中止されたことを知らせた。

## 3. warn「AにBを警告する」

危険や注意を知らせる際に使います。

- The sign warned drivers of the icy road.  
その標識は運転者に凍結した道路を警告した。
- He warned me that the dog was dangerous.  
彼は私に、その犬が危険だと警告した。

## 4. assure「AにBを保証する／確信させる」

「安心させる、信頼を与える」という意味を含みます。

- She assured me of her support.  
彼女は私に支援を確信させた。
- I assure you that everything will be fine.  
すべてうまくいくとあなたに保証します。

## 5. notify「AにBを正式に通知する」

法律・ビジネス・公式な連絡で頻繁に使われる語で、「(人)に(事実)を通知する、知らせる」という意味です。notify は inform に似ていますが、より制度的・文書的なニュアンスを持ちます。

- The company notified its employees of the policy change.  
会社は従業員に方針変更を通知した。
- He notified me that the shipment had been delayed.  
彼は私に、配送が遅れたことを通知した。
- (受動態): I was notified of the meeting by email.  
私はその会議についてメールで通知を受けた。

## 【3】[英文解釈]《大阪大》

As a beginning、現代の技術と科学を理解するために、私たちはまず、自分たちの思考を clarify するよう努めるべきであり、そのためには、ある程度の historical depth をもって、それらを underlie する presuppositions を見る必要がある。科学はかつて traditionally、aristocratic で、speculative かつ intellectual な

intent を持っていた。一方、科学技術は lower-class で、empirical、そして action-oriented であった。この二者の急激な fusion は、19 世紀半ばに起きたことであり、それはおそらく、わずかに prior で、かつ contemporary な democratic な revolution と related である。それらの revolution は、社会的な barriers を reducing することで、頭脳と手作業の functional な unity を assert しようとした。我々が直面する ecological な crisis は、emerging しつつある、まったく novel な democratic 文化の product である。issue は、democratized された世界が、その持つ implications に耐えて survive できるかどうかである。Presumably、それが不可能であるならば、私たちは自らの axioms を rethink しなければならない。

### Vocabulary

1. clarify [klærəfài]	[動] 明確にする
2. historical [histó:rikəl]	[形] 歴史的な
3. presupposition [prì:sàpəzɪʃən]	[名] 前提
4. underlie [ʌndərlái]	[動] ~の基礎にある
5. traditionally [trədɪʃənəli]	[副] 伝統的に
6. aristocratic [əristəkrætɪk]	[形] 貴族的な
7. speculative [spékjulətɪv]	[形] 思索的な
8. intellectual [ɪntələktʃuəl]	[形] 知的な
9. intent [ɪntént]	[名] 意図
10. lower-class [lúərkla:s]	[形] 下層階級の、社会的地位の低い
11. empirical [empírɪkəl]	[形] 経験的な
12. action-oriented [ækʃən ó:rièntɪd]	[形] 行動志向の
13. fusion [fjú:ʒən]	[名] 融合
14. related [riléɪtɪd]	[形] 関連している
15. slightly [sláɪtli]	[副] わずかに
16. prior [práɪər]	[形] 前の
17. contemporary [kəntémpərèri]	[形] 同時代の
18. democratic [dèməkrætɪk]	[形] 民主的な
19. revolution [rèvəlú:ʃən]	[名] 革命、急激な変化
20. reduce [rɪdjú:s]	[動] 減らす
21. barrier [bæriər]	[名] 障壁
22. assert [əsé:rt]	[動] 主張する

23. functional[fʌŋkʃənəl]	[形]機能的な
24. unity[jú:nəti]	[名]統一
25. ecological[èkələdʒikəl]	[形]生態学的な
26. crisis[kráisis]	[名]危機
27. product[prádʌkt]	[名]産物
28. emerging[imé:rdʒiŋ]	[形]新たに現れた
29. novel[návəl]	[形]斬新な
30. issue[íʃu:]	[名]問題
31. democratized[dimákretàizd]	[形]民主化された
32. survive[sərváiv]	[動]生き延びる
33. implication[ìmplikéiʃən]	[名]含意、影響
34. presumably[prizú:məbli]	[副]おそらく
35. rethink[rí:θiŋk]	[動]再考する
36. axiom[æksiəm]	[名]自明の理、原則

#### 【4】〔英文解釈〕《大阪大》

美しい真珠を手にとったり眺めたりしたとき、その origin が irritation であると考えたことがあるだろうか？貝は、殻の中に入り込んだ砂の irritating な存在に in response to して、美しいものを生み出す。このように、conflict が resolved されるだけでなく、価値が生み出されるのである。私たちが、conflict には美しい真珠を生み出し、世界や自分自身に contribute する potential が含まれていると理解するとき、私たちは自分の殻を開き始め、人生を受け入れることへの concern を減らすようになる。Embracing conflict は、irritation や frustration が成長と fascination につながると知っているとき、喜びとなりうるのだ。

#### Vocabulary

1. origin[ó:rədʒin]	[名]起源
2. irritation[ìrətéiʃən]	[名]いら立ち、刺激
3. in response to	[句]～に応じて
4. irritating[ìrətèitiŋ]	[形]いら立たせる
5. conflict[kánflikt]	[名]対立、衝突
6. resolved[rizálvd]	[動]解決された
7. potential[pəténʃəl]	[名]可能性
8. contribute[kəntribju:t]	[動]貢献する
9. concerned[kənsé:rnd]	[形]気にかかる、心配して

- |     |                          |               |
|-----|--------------------------|---------------|
| 10. | embrace[imbréis]         | [動]受け入れる      |
| 11. | frustration[frʌstréiʃən] | [名]欲求不満       |
| 12. | fascination[fæ`sənéiʃən] | [名]魅力、魅了されること |

No 21

【2】[英語構文]《動詞の語法⑨》

重要なのは、自分の感情の victims となって、unresolved な感情にあちこちに jerked されることではなく、経験に使われることではなく、それらを使い、creatively に使うことなのだ。作家たちが自分の人生経験を小説や劇に変えるように、私たちもそれぞれ、自分の経験を transform して、practical で使えるものにすることができる。イサク・ディネーセンはこう言った:「どんな sorrow も、それを put A in a story にできれば borne」と。自分の total な経験が人生となり、その土台は、それについて reflected し、理解し、workable な解決にたどり着いた degree において、solid で確かなものになる。

**Vocabulary**

- |     |  |                            |
|-----|--|----------------------------|
| 1.  | victim[víktim]                           | [名]犠牲者                     |
| 2.  | jerk[dʒɛ:rk]                             | [動]急に引っ張る、揺さぶる             |
| 3.  | unresolved[ʌnrizálvd]                    | [形]未解決の                    |
| 4.  | creatively[kriéitivli]                   | [副]創造的に                    |
| 5.  | transform[trænsfó:rm]                    | [動]変える、変換する                |
| 6.  | practical[præktikəl]                     | [形]実用的な                    |
| 7.  | sorrow[sárou]                            | [名]悲しみ                     |
| 8.  | put A in a story                         | 物語にて表現する                   |
| 9.  | bear [béər]                              | [動](責任・重荷など)を負う、耐える;(子を)産む |
|     | ▶ 活用:bear - bore - borne / born          |                            |
|     | - borne:責任・重荷などを「負わされた」ことに対して使う(受け身の意味)  |                            |
|     | - born:子を「産んだ」結果を表すときに使う(be born = 生まれる) |                            |
| 10. | total[tóutl]                             | [形]全体の                     |
| 11. | solid[sálid]                             | [形]しっかりした、堅実な              |
| 12. | degree[digrí:]                           | [名]程度、度合い                  |
| 13. | reflect[riflékt]                         | [動]熟考する、反映する               |
| 14. | workable[wé:rkəbl]                       | [形]実行可能な、うまく機能する           |

**Usage**

◆ 「V A into B」の構文では、動詞が「A を B の状態・形に変える」という変化・転換の意味を持ちます。このときの *into* は、「～の中へ」という意味から派生し、B という新たな状態・形への到達点を表します。

文の焦点は「A がどう変わるか／何に変わるか(=B)」にあり、多くの場合、B には「職業・姿・形・考え方」などの新たな性質や状況が現れます。外見・本質・機能などが変わる様子が中心的な意味となります。

以下は、この構文で頻出する代表的な動詞です。

### 1. turn「A を B に変える」

最も基本的な動詞。意味・文体の幅が広く、「向ける」という意味から「変化する・させる」まで対応。

- The magician turned the frog into a prince.  
その魔法使いはカエルを王子に変えた。
- She turned her hobby into a business.  
彼女は趣味をビジネスに変えた。

### 2. change「A を B に変える」

「性質・形・状態などを変化させる」ことに重点があります。最も中立的で一般的な語です。

- They changed the warehouse into an art museum.  
彼らは倉庫を美術館に変えた。
- The experience changed him into a new person.  
その経験が彼を別人のように変えた。

### 3. translate「A を B に翻訳する／言い換える」

原義は「翻訳する」ですが、より広く「ある表現を別の形に変える」という意味でも使われます。

- He translated the poem into Japanese.  
彼はその詩を日本語に訳した。
- We need to translate theory into action.  
私たちは理論を行動に移す必要がある。

### 4. convert「A を B に転換する／変換する」

「体系・信仰・機能・通貨などを意図的に変える」という意味合いが強く、技術的・宗教的・制度的文脈でよく使われます。

- They converted the church into a library.  
彼らはその教会を図書館に変えた。
- He was converted into a believer.  
彼は信者に改宗した(された)。

5. transform「A を B に変身させる／一変させる」

「大きく変える、見違えるようにする」という強い変化のニュアンスを持つ語です。

- The machine transformed sunlight into electricity.  
その機械は太陽光を電気に変えた。
- The actor was transformed into an old man with makeup.  
その俳優はメイクによって老人に変身した。

【3】〔英文解釈〕《大阪大》

私たちの時代にとって新しいのは、善や evil の intentions とはまったく independently に、人間という enterprise が as a whole で、他の生命と共に人間が依存している自然の terrestrial な世界を strain し、eat away し始めたという realization である。この entirety で見ると、人類の力の増加は、人間と地球との間の力のバランスに decisive で many-sided な shift をもたらした。かつて harsh で feared された自然という主は、今では subjection の中にあり、人間の力から守られる必要がある。しかし、人間は、どれほど intellectual で technical な heights に attain しようとも、自然に embedded されているため、そのバランスは人間にとっても不利に傾いており、地球に対して人間が present する threat は、そのまま自らに対する脅威ともなるのだ。

**Vocabulary**

1. realization[riəlizéiʃən]	[名]認識、実感
2. independently[ɪndɪpɛndəntli]	[副]独立して、無関係に
3. evil[í:vəl]	[形]悪意のある、邪悪な
4. intention[inténʃən]	[名]意図
5. enterprise[éntəpràiz]	[名]事業、取り組み
6. as a whole	[句]全体として
7. strain[stréin]	[動]緊張させる、負荷をかける
8. eat A away	[句]A を蝕む、侵食する
9. terrestrial[tərəstriəl]	[形]地球の、陸の
10. entirety[intáiərti]	[名]全体、全部
11. decisive[disáisiv]	[形]決定的な
12. many-sided[méni-sáidid]	[形]多面的な
13. shift[ʃíft]	[名]変化、移行
14. strength[stréŋkθ]	[名]力、強さ
15. harsh[há:rʃ]	[形]過酷な

16. feared[fíərd]	[形]恐れられている
17. subjection[səbdʒékʃən]	[名]服従、支配されている状態
18. intellectual[ɪntələktʃuəl]	[形]知的な
19. technical[téknikəl]	[形]技術的な
20. height[háit]	[名]高み、頂点 ※発音注意
21. attain[ətéin]	[動]到達する
22. embedded[imbédid]	[動]埋め込まれている、組み込まれている(embed の過去分詞)
23. threat[θrét]	[名]脅威
24. present[prizént]	[動]示す、もたらす

## 【4】[英文解釈]《大阪大》

ビデオテープや audiotape、そして detailed で antique なノートから delivered される講義は、講義室であっても、知識が本やインターネットに stored されている形式により近く、オープンな問いや collaboration を通じて創造されたり obtained されたりする形式とは異なる。情報を convey する method として、講義は、データへのコンピュータによるアクセスに見られるような、高速で free-ranging な exploration には lack している。講義が contain する情報は、私たちが講義に関心を持つ主な理由ではめったにない。その fascination の源は、講義者の eloquence と独自の angle of vision である。そのような presentations を worthwhile なものにするのは、他者が世界をどう perceive しているのかを見る機会や、それについて質問できる opportunity なのである。

**Vocabulary**

1. audiotape[ó:dioutèip]	[名]音声テープ
2. deliver[dilívər]	[動]届ける、伝える
3. detailed[dí:teild]	[形]詳細な
4. antique[æntí:k]	[形]古風な、年代物の
5. store[stó:r]	[動]保存する
6. obtain[əbtéin]	[動]得る
7. collaboration[kəlæbərəiʃən]	[名]協力、共同作業
8. method[méθəd]	[名]方法
9. convey[kənvéi]	[動]伝える
10. lack[láek]	[動]欠けている

11. free-ranging[frí:-réindziŋ]	[形]自由に広がる、広範囲に及ぶ
12. exploration[èkspləréiʃən]	[名]探求、調査
13. typical[típi:kəl]	[形]典型的な
14. contain[kəntéin]	[動]含む
15. fascination[fæ`sənéiʃən]	[名]魅了、魅力
16. eloquence[éləkwəns]	[名]雄弁さ
17. presentation[prèzəntéiʃən]	[名]発表、提示
18. worthwhile[wə:rθ(h)wáil]	[形]価値のある
19. opportunity[əpərtjú:nəti]	[名]機会
20. afford[əfó:rd]	[動](機会・余裕などを)与える
21. perceive[pərsí:v]	[動]知覚する、理解する

No 22

【1】[英語構文]《動詞の語法⑩》

読むという行為は、generally に regarded されているように、印刷された文字や書かれた言葉を interpreting する行為とみなされている。それは教育の基本的な道具であり、日常生活において最も重要な技能の一つである。私たちは印刷された言葉の世界に生きている。読むことによって、私たちは新しい考えを acquire し、必要な情報を obtain し、自分の考えの裏づけを seek し、個人的な楽しみを add し、興味を broaden することができる。読むことは私たちの生活の中で多くの重要な functions を果たす。読む力は、人間を他の動物と distinguish する助けとなる。

**Vocabulary**

1. generally[dzénərəli]	[副]一般的に
2. regard A as B[rigá:rd]	[動]AをBとみなす
3. interpret[inté:rprɪt]	[動]解釈する
4. acquire[əkwáɪər]	[動]習得する、得る
5. obtain[əbtéin]	[動]手に入れる
6. seek[sí:k]	[動]探し求める
7. add[æd]	[動]加える
8. broaden[bró:dn]	[動]広げる
9. perform[pərfó:rm]	[動]果たす
10. function[fʌŋkʃən]	[名]機能、役割
11. distinguish A from B[distɪŋgwɪʃ]	[動]AとBを区別する、識別する

## Usage

◆ 「V A from B」の構文では、動詞が「A を B から分ける・区別する・隔てる」という意味を持ちます。このときの from は「起点・分離・区別」の前置詞であり、B から距離を置く／B とは違うものとして扱う という発想が基本にあります。多くの場合、物理的・心理的・概念的な分離を表すために使われ、「どこから切り離すか」「何と何を区別するか」という対比構造が文の核心になります。

以下は、この構文で頻出する代表的な動詞です。

### 1. separate「A を B から分ける・引き離す」

物理的な距離や感覚的な隔たりを作るときに使います。人・物・場所・考えなど、幅広い対象に使用可能。

- We need to separate waste from regular garbage.  
私たちは廃棄物を通常のごみと分別する必要があります。
- The mountain range separates the two countries from each other.  
その山脈は両国を分けている。

### 2. isolate「A を B から隔離する」

周囲から完全に切り離す意味で、感染・実験・孤立などの文脈でよく使われます。

- The patient was isolated from other people.  
その患者は他の人々から隔離された。
- Scientists isolated the virus from the sample.  
科学者たちはそのウイルスをサンプルから分離した。

### 3. distinguish「A を B から区別する」

2つの似たものの違いを明確にするときに使います。知覚・思考レベルでの区別に用います。

- It's hard to distinguish reality from dreams.  
現実と夢を区別するのは難しい。
- She can distinguish good wine from bad.  
彼女は良いワインと悪いワインを見分けられる。

### 4. tell「A を B から見分ける／区別する」

「話す」以外に、「見分ける・識別する」の意味でも使われます。口語的かつ広く使われる表現。

- I can't tell one twin from the other.  
私は双子を見分けられない。
- Can you tell a fake from the real thing?  
偽物と本物を見分けられますか？

5. exclude「A を B から除外する」

あるグループやリストから人・物・要素などを意図的に取り除くときに用います。

- They excluded his name from the guest list.  
彼の名前は招待客リストから除外された。
- We should exclude irrelevant data from the analysis.  
分析から関係ないデータを除外すべきだ。

6. protect「A を B から守る」

「分ける」ではなく「B から A を守る」という形で、被害や危険との隔離を表す機能的な動詞です。

- Sunscreen protects your skin from UV rays.  
日焼け止めは肌を紫外線から守ってくれる。
- He protected the child from the falling rocks.  
彼は落ちてくる岩から子供を守った。

---

【3】[英文解釈]《大阪大》

色には、それぞれの文化が色に associate するさまざまな意味に基づいて、specific な significance があり、私たちはそれを一種の簡単な言語のように使っている。たとえば、blood は赤いため、多くの文化において赤は aggressive な色とみなされ、道路の traffic で使われる標識のように warning としても、赤いバラの贈り物のように passion を signify するためにも使われる。交通標識では、自然や harmony の色である緑が、赤とは opposite の意味で「進んでも安全」を表すのに使われている。おそらく、私たちが暗闇や「夜」を死と associate するために、funerals では喪を acknowledge し mourning を表すために黒い服を着るのだろう。一方で、carnivals では、できる限り多くの明るい primary な色を組み合わせるのが普通である。

**Vocabulary**

- |                              |              |
|------------------------------|--------------|
| 1. specific[spisífik]        | [形]特定の       |
| 2. significance[signífikəns] | [名]重要性、意味    |
| 3. associate[əsóúʃièit]      | [動]関連づける     |
| 4. blood[bláð]               | [名]血         |
| 5. aggressive[əgrésiv]       | [形]攻撃的な      |
| 6. warning[wó:rniŋ]          | [名]警告        |
| 7. traffic[træfik]           | [名]交通        |
| 8. signify[sígnəfài]         | [動]意味する、象徴する |

9. passion[pæʃən]	[名]情熱
10. harmony[há:rməni]	[名]調和
11. opposite[ápəzit]	[名・形]反対(の)
12. funeral[fjú:nərəl]	[名]葬儀
13. acknowledge[æknálidz]	[動]認める
14. mourn [mó:rn]	[動]悲しむ、喪に服する、嘆く
15. whereas[hwèəræz]	[接]一方で ≡while
16. carnival[ká:rnəvəl]	[名]カーニバル
17. primary[práiməri]	[形]基本的な、主要な、原色の

## 【4】[英文解釈]《大阪大》

最も興味深い insect の behavior の一つは、social な insects によって exhibited されるものである。これらは、たいていの species と違って、組織的な集団で生活する。social な insects には、wasps、bees、ants が include される。Characteristically、insect の社会は、親と多数の offspring から構成される。その社会の各構成員はグループに divided され、それぞれが specialized な function を持ち、しばしば markedly 異なる身体的 structures を示す。

**Vocabulary**

1. insect[ínsəkt]	[名]昆虫
2. behavior[bihéivjər]	[名]行動
3. exhibit[igzíbit]	[動]示す、表す
4. social[só:ʃəl]	[形]社会的な
5. species[spí:ʃi:z]	[名]種
6. include[inklú:d]	[動]含む
7. wasp[wásp]	[名]スズメバチ
8. characteristically[kærəktərístikəli]	[副]特徴的に
9. offspring[ó:fsprɪŋ]	[名]子孫、子
10. divide[diváid]	[動]分ける
11. specialized[spé:ʃəlàizd]	[形]専門的な、特化した
12. function[fʌŋkʃən]	[名]機能、役割
13. markedly[má:rkɪdli]	[副]著しく、はっきりと
14. structure[stráktʃər]	[名]構造、仕組み

No 23

【1】〔英語構文〕《動詞の語法①》

語の習得はしばしば、ちょっとした言語学の授業のように characterized される。それは、外国語の授業での語彙のレッスンに similar であり、大人が子どもに objects を指さして名前を教えるような状況を指す。この指差しと命名のゲームでは、そのプロセスは relatively 単純に見える。子どもは、今 currently 耳にしている語を、今目にしているものと associate すればよいだけである。

**Vocabulary**

- |                                 |                |
|---------------------------------|----------------|
| 1. characterize [kæ'ræktəraɪz]  | [動]特徴づける、～とみなす |
| 2. similar [sɪmələ]             | [形]似ている、類似の    |
| 3. object [ábɔ:dʒɪkt / óbdʒekt] | [名]物体、対象       |
| 4. relatively [rélətɪvli]       | [副]比較的に        |
| 5. associate [əsóʊʃièit]        | [動]結びつける、関連づける |
| 6. currently [kə:rəntli]        | [副]現在、今のところ    |

**〔Usage〕**

◆ 「V A from B」の構文では、動詞が「A を B から分ける・区別する・隔てる」という意味を持ちます。このときの from は「起点・分離・区別」の前置詞であり、B から距離を置く／B とは違うものとして扱う という発想が基本にあります。多くの場合、物理的・心理的・概念的な分離を表すために使われ、「どこから切り離すか」「何と何を区別するか」という対比構造が文の核心になります。

以下は、この構文で頻出する代表的な動詞です。

1. provide「A に B を提供する」

原義は「前もって用意する」で、必要な物や情報を与える意味で広く使われます。制度的・公的な場面でもよく登場します。

- The school provided the students with textbooks.  
学校は生徒たちに教科書を提供した。
- They provided us with useful information.  
彼らは私たちに有益な情報を提供してくれた。

2. supply「A に B を供給する」

語源は「満たす・備える」。物資や資源を継続的・実用的に与えるときに使われます。

- The company supplied the hospital with medical equipment.  
その会社は病院に医療機器を供給した。
- They supplied us with food and blankets.  
彼らは私たちに食料と毛布を支給した。

## 3. present「AにBを提示する／贈る」

語源は「差し出す」。賞・贈り物・公式な文書などを相手に渡すときに使われます。

- He presented her with a beautiful ring.  
彼は彼女に美しい指輪を贈った。
- She was presented with an award.  
彼女は賞を授与された。

## 4. furnish「AにBを備え付ける」

「満たす・供給する」が語源。特に家具や設備などを空間に設置する意味で使われます。

- They furnished the apartment with new furniture.  
彼らはアパートに新しい家具を備え付けた。
- The room was furnished with a bed and a desk.  
その部屋にはベッドと机が備えられていた。

## 5. equip「AにBを装備させる」

「装備する」という意味で、機械、武器、技術などの準備や装備に使われます。

- They equipped the soldiers with weapons.  
彼らは兵士たちに武器を装備させた。
- The laboratory was equipped with the latest technology.  
その研究所には最新の技術が装備されていた。

## 6. fill「AにBを満たす」

液体、空気、感情などを容器や空間に満たすときに使います。抽象的表現にも対応します。

- She filled the glass with water.  
彼女はコップに水を注いだ。
- The room was filled with smoke.  
部屋は煙で満たされていた。

## 7. associate「AをBと結びつけて考える」

抽象的な意味で「連想する」「結びつける」。イメージ・概念・記憶などに関連づけるときに使われます。

- People often associate summer with the beach.  
人々は夏と海を結びつけて考えることが多い。
- I associate the smell of cinnamon with my grandmother's kitchen.  
私はシナモンの香りを祖母の台所と結びつけて思い出す。

## 8. connect「AをBとつなぐ」

物理的な接続から人間関係や意味の関連付けまで、幅広く使われる動詞。具体・抽象どちらにも対応。

- The bridge connects the island with the mainland.  
その橋は島と本土をつないでいる。
- She connected his silence with guilt.  
彼女は彼の沈黙を罪悪感と結びつけた。

#### 10. compare「A を B と比較する」

類似点・相違点を明らかにするために、二者を並べて比較するときに用います。

- He compared his hometown with the big city.  
彼は故郷と大都市を比較した。
- The teacher compared the two poems with each other.  
先生はその2つの詩を比較した。

---

#### 【3】[英文解釈]《大阪大》

科学者たちや動物の調教師たちは、動物たちにとって世界がどのように見えるかを理解しようと devoted してきた。After all、この惑星は私たち人間が少数派であるような、perceptive な creatures に満ちており、彼らの目に人生がどう映るかを consider することは、単なる idle な curiosity 以上の意味をもつ。人間はどうしても、人間の perspective からこの問題に approaching してしまう。私たちは自分たちの intelligence、行動、emotions、言語能力を norm として posit する。私の馬の調教師の友人は、馬は intelligent かとよく尋ねられる。「誰がそのテストを書いているかによるね」と彼はよく言う。もし人間がテストを書く側でなかったら、つまり、defining する側でなかったら、どうなるのだろうかと思はよく思う。

#### Vocabulary

- |                         |   |
|-------------------------|---|
| 1. devote[divóut]       | [動](時間・努力など)を捧げる                        |
| 2. after all[æftər ɔ:l] | [副句]                                    |
|                         | ① 結局のところ(文中・文末)                         |
|                         | He decided not to go <i>after all</i> . |
|                         | (彼は結局のところ行かないことにした。)                    |
|                         | ② 何と言っても、だって～だから(文頭)                    |
|                         | <i>After all</i> , he is only a         |

	child. (何と言っても彼はまだ子どもなのだから。)
3. perceptive [pərséptiv]	[形] 知覚力の鋭い、感知力のある
4. creature [krí:tʃər]	[名] 生き物、動物
5. idle [áidl]	[形] 無意味な、怠惰な
6. curiosity [kjùəriásəti]	[名] 好奇心
7. consider [kənsídər]	[動] ~をよく考える、考慮する
8. approach [əpróutʃ]	[動] 近づく、取り組む
9. perspective [pəspéktiv]	[名] 視点、観点
10. posit [pázit]	[動] ~を前提とする、仮定する
11. intelligence [intélidʒəns]	[名] 知能、知性
12. emotion [imóuʃən]	[名] 感情
13. norm [nó:rm]	[名] 基準、規範
14. intelligent [intélidʒənt]	[形] 知的な、賢い
15. define [difáin]	[動] 定義する、明確にする

### 【3】[英文解釈]《大阪大》

Communication とは、単なる話すことや書くこと以上のものである。私たちの多くは、話していないときでさえ、さまざまな方法で communicating していることに unaware である。他の社会的な動物の species についても同じことが言える。私たちは学校で、このほとんど非言語的な人間の communication について学ぶことはほとんどないが、これは他者との effective な interaction のために非常に重要である。社会の中で成長するにつれて、私たちは身ぶりや glances、声の調子の slight な変化、その他の auxiliary な communication の devices を使って、自分の言動を modify したり emphasize したりする方法を学ぶ。私たちはこれらの、きわめて culture-bound な techniques を、主に他人を observing し、imitating することによって何年もかけて学んでいく。

### Vocabulary

1. communication [kəmʃù:nikéiʃən]	[名] 伝達、意思疎通
2. unaware [ʌnəwéər]	[形] 気づかないで
3. species [spí:ʃi:z]	[名] 種(しゅ)、種類
4. effective [iféktiv]	[形] 効果的な
5. interaction [ìntərəékʃən]	[名] 相互作用、交流

6. glance[glæns]	[名]一瞥、ちらりと見ること
7. slight[sláit]	[形]わずかな、微細な
8. auxiliary[ɔ:gzíljəri]	[形]補助的な
9. device[diváis]	[名]装置、手段
10. modify[mádəfài]	[動]修正する、変える
11. emphasize[émfəsàiz]	[動]強調する
12. culture-bound[káltʃər-bàund]	[形]文化に根差した
13. technique[tekní:k]	[名]技法、やり方
14. observe[əbzé:rv]	[動]観察する
15. imitate[ímətèit]	[動]まねる、模倣する

No 25

【3】[英文解釈]《大阪大》

夜に active な動物は、たいてい大きな目を持っていて、available な光を make use of することができる。フクロウでは、目が頭部と in comparison to して、非常に大きいため、目の muscles のための空間がほとんどなく、目を動かすことができない。Instead、フクロウは prey の動きを追うために、頭全体を動かさなければならない。しかし、fixed な目を持っていることで、両目が同じ方向を向いているため、よりよい焦点が得られる。そして、たとえ it seems にフクロウが頭を completely に twist できるように見えても、ほとんどのフクロウは、どちらの方向にも no more than 270degrees で in either direction しか頭を回すことができない。

**Vocabulary**

1. active [áktiv]	[形]活動的な
2. make use of	[句]利用する
3. available [əvéiləbl]	[形]利用可能な
4. in comparison to	[句]～と比較して
5. muscle [másl]	[名]筋肉
6. instead [instéd]	[副]その代わりに
7. prey [préi]	[名]獲物
8. fixed [fikst]	[形]固定された
9. it seems	[句]～のように見える
10. twist [twíst]	[動]ねじる、ひねる
11. completely [kəmplí:tli]	[副]完全に
12. no more than	[句]せいぜい～までしか～ない

- |                         |             |
|-------------------------|-------------|
| 13. degree [digrí:]     | [名]度、角度     |
| 14. in either direction | [句]どちらの方向にも |

## 【4】〔英文解釈〕《大阪大》

自分自身の impatience、hostility、そして怒りの感情をどう handle するかは、子どもにとって、彼ら自身の感情にどう対処するかを言葉で教えるよりも、はるかに強力な手本となる。自分の暗い moods を子どもに impose したくはないが、かといって怒りの感情が exist しないふりをしたくもない。In any case、どうせなら正直でいたほうがよい。というのも、たとえ怒りを cover up しようとしても、子どもは私たちの感情を感じ取るからである。

**Vocabulary**

- |                           |                 |
|---------------------------|-----------------|
| 1. handle [háendl]        | [動]対処する、扱う      |
| 2. impatience [impéiʃəns] | [名]いらだち         |
| 3. hostility [hastíletí]  | [名]敵意           |
| 4. impose A on B [impóuz] | [動]A を B に押しつける |
| 5. mood [mú:d]            | [名]気分、機嫌        |
| 6. pretend [príténd]      | [動]ふりをする        |
| 7. exist [igzíst]         | [動]存在する         |
| 8. in any case            | [句]いずれにせよ       |
| 9. may as well V          | [句]V したほうがよい    |
| 10. cover up              | [句]隠す、覆い隠す      |

## 【5】〔英文解釈〕《大阪大》

私たちの精神に対する考えと著述に対する考えとの間には、extremely 強力な conceptual なつながりがある。a sort of external memory として記録は理解され、記憶は internal な記録とみなされる。著述は紙の上での思考とされ、思考は心の中での著述と理解される。By means of this conceptual なつながりによって、書かれた作品は作者の substitute、あるいは essence とみなされる。作者の精神は、彼または彼女が書き込む果てしない紙であり、それが internal な著述となる。そして作者が書いた本は external な精神、すなわちその著述の外的な形とされる。著述はしたがって声をもつものと conceived of され、それが私たちに語りかけ、私たちはそれに respond する。作者は self、すなわち思考する自己と理解される。自己は、心の中で著述をしている作者であるとされる。時には、自己が思考を外的に紙に著述している作者となる。このことにより、私たちが「思考を紙に put

A down」ということばを使うのが extremely 容易になり、作者の self がその writing に contained されていると考えることも自然になる。その結果、「パスカルが上の棚にある」というように、作者の名前でその著述を reference することがごく自然に感じられるようになる。

### Vocabulary

1. extremely [ikstrí:mli]	[副]極めて
2. conceptual [kənséptʃuəl]	[形]概念の
3. a sort of	[句]一種の～
4. external [iksté:rnəl]	[形]外的な、外部の
5. internal [inté:rnəl]	[形]内的な、内部の
6. by means of	[句]～によって
7. substitute [sábstətjù:t]	[名]代用物、代役
8. essence [ésns]	[名]本質
9. conceive of	[句]～と考える、想像する
10. respond [rispánd]	[動]反応する、応答する
11. self [sélf]	[名]自己、自我
12. put A down	[句]A を書きしるす
13. contain [kəntéin]	[動]含む、内包する
14. reference [réfərəns]	[名]言及、参照